



啓成小学校パソコン プログラミング交流

情報電子科3年生が啓成小学校6年生の児童たちにスクラッチのプログラミングを通して交流事業を行いました。例年、啓成小学校3年生の児童たちとはパソコンの基本的な使い方について情報電子科の生徒が教える交流を行っています。啓成小学校には、いち早くクロムブックが一人一台支給されており、よく使いこなせている児童も見られました。情報電子科の高校生たちも驚いた様子を隠せなかったみたいです。

情報電子科の生徒はとまどいながらも交流をしていました。始まる前はどうか接していいか悩んでいましたが、いざ始まると楽しそうに交流をすることができました。

交流した高校生は普段、スクラッチを使ってゲーム製作を行っているメンバーでしたが、教えることによって自分自身のプログラミングのスキルを高めているように感じました。この経験を生かして課題研究で製作中のゲームがより魅力的な作品に仕上がることを期待しています。

啓成小学校のみなさんからはお礼の言葉をたくさんいただきました。これからもこの事業が末永く続くことを祈っています。

